

平成20年度
筑紫野市教育委員会
点検・評価報告書

平成22年3月
筑紫野市教育委員会

目 次

．はじめに	2
．教育委員会の活動状況等	2
（１）教育委員会の構成	2
（２）教育委員会会議付議事項	2
（３）その他の活動状況	4
．事務事業の点検・評価	5
＜生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備＞	
１．学校教育の充実	6
２．青少年の健全育成	10
３．生涯学習・社会教育の推進	14
４．スポーツ・レクリエーションの推進	22
＜認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成＞	
５．人権意識の向上	25

．はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

．教育委員会の活動状況等

(1) 教育委員会の構成

(平成22年1月1日現在)

委員の区別	氏名	年齢	委員としての任期	
			任命年月日	満了年月日
委員長	近本 明	75	H20.10.04	H24.10.03
委員(委員長職務代理者)	徳永 茂樹	55	H19.03.07	H23.03.06
委員	潮見 眞千子	57	H21.12.21	H25.12.20
委員	高山 百合子	51	H20.06.23	H24.06.22
教育長	寺崎 和憲	56	H21.01.01	H24.12.31

(2) 教育委員会会議付議事項

開催番号	開催日	付議事項
平成20年 第4回	4月17日	筑紫野市文化財保護審議会委員の委嘱について 教育長の報告について 各課の報告について
第5回	5月22日	筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について 筑紫野市立山家幼稚園の保育料等の減免に関する規則の一部を改正する規則の制定について 筑紫野市コミュニティ施設(山家)運営協議会委員の委嘱について 筑紫野市コミュニティ施設(山口)運営協議会委員の委嘱について 筑紫野市コミュニティ施設(御笠)運営協議会委員の委嘱について

		<p>筑紫野市コミュニティ施設（二日市）運営協議会委員の委嘱について</p> <p>筑紫野市コミュニティ施設（筑紫南）運営協議会委員の委嘱について</p> <p>筑紫野市コミュニティ施設（筑紫多目的集会施設）運営協議会委員の委嘱について</p> <p>筑紫野市歴史博物館協議会委員の委嘱について</p> <p>教育長の報告について</p> <p>各課の報告について</p>
第6回	6月19日	<p>教育長の報告について</p> <p>各課の報告について</p>
第7回	7月25日	<p>平成21年度使用小学校用教科用図書採択について</p> <p>教育長の報告について</p> <p>各課の報告について</p>
第8回	9月26日	<p>筑紫野市立小中学校の耐震化計画について</p> <p>教育長の報告について</p> <p>各課の報告について</p>
第9回	10月4日	<p>筑紫野市教育委員会委員長の選挙の件について</p> <p>委員長職務代理者の指定の件について</p>
第10回	10月21日	<p>平成19年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算（教育費）について</p> <p>平成19年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算について</p> <p>平成20年度筑紫野市一般会計補正予算（教育費9月補正）について</p> <p>筑紫野市奨学生の選考について</p> <p>筑紫野市奨学生の選考について</p> <p>教育長の報告について</p> <p>各課の報告について</p>
第11回	11月27日	<p>筑紫野市立図書館協議会規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>教育長の報告について</p> <p>各課の報告について</p>
第12回	12月25日	<p>平成20年度筑紫野市一般会計補正予算（教育費12月補正）について</p> <p>二日市東小学校通学区域再編業務の今後の対応方針（案）について</p> <p>教育長の報告について</p> <p>各課の報告について</p>
平成21年 第1回	1月23日	<p>筑紫野市学校給食共同調理場管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>筑紫野市立小中学校児童生徒心臓精密検査補助金交付要綱を</p>

		廃止する要綱について 奨学生の選考について 奨学生の選考について 奨学生の選考について 奨学生の選考について 筑紫野市文化振興計画について 教育長の報告について 各課の報告について
第2回	2月19日	平成21年度筑紫野市教育行政の主要施策について 筑紫野市就学指導委員会設置条例の一部を改正する条例について 教育長の報告について 各課の報告について
第3回	3月26日	平成20年度筑紫野市一般会計補正予算(第6号)(教育費)について 平成20年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算(第1号)について 筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 平成21年度筑紫野市一般会計予算(教育費)について 平成21年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について 筑紫野市教育委員会嘱託職員の任用に関する規程の一部を改正する規程について 筑紫野市立学校管理規則の一部を改正する規則について 2学期制の実施について(天拝小学校) 2学期制の実施について(二日市小学校) 2学期制の実施について(二日市北小学校) 平成21年度筑紫野市立小中学校の給食費について 筑紫野市体育指導委員の選任について 教育長の報告について 各課の報告について

以上の付議事項は全て可決・承認されました。

(3) その他の活動状況

学校訪問・・・市内全小中学校を訪問

各種行事等・・・入学(園)式、卒業式、運動会、体育会、教職員赴任式等に出席

研修等・・・九州地区教育委員研修会等に参加

その他・・・定期的学校訪問

・事務事業の点検・評価

本市では、継続的に行っている事務事業について、内容の点検を行う事務事業評価制度を導入し、事務の効率化を図っています。また、毎年度、教育施策要覧を作成し教育行政の推進に取り組んでいるところです。

(1) 教育費の決算状況

教育費関係決算額27億1,276万6,944円で、一般会計に占める教育費の割合は10.2%となっております。これは、昨年度の9.5%に対し0.7ポイントの増で、その要因として阿志岐小学校、山家小学校、筑山中学校の耐震化工事及び原田小学校の増築工事などがあげられます。

(2) 事務事業評価

- A 成果があがっている
- B どちらかといえばあがっている
- C あがっていない

生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備

1. 学校教育の充実

基本事業	事務事業	事業の意図	評価
		活動状況等	
教育環境の整備	特別支援教育推進事業	市内小中学校に在籍する、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服する。	B
		特別支援学級設置16校中10校に介助員を配置した。(複数配置校があるため、16人配置)	
教育環境の整備	児童生徒等通学支援事業	児童の通学上の危険を除去することで、安全策を講じることができ、教育環境を良好に保ち児童の通学における安全を確保したい。	B
		天山児童数 27人 稼動日数 201日 走行距離 5,683Km 購入年月日 平成19年7月 J A より5年経過の福祉マイクロバスを払い下げ購入する。	
教育環境の整備	小学校教材・図書整備事業	学校図書館の図書及び教師用図書の整備により充実した学校教育が受けられる。	C
		学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を学校の実態にあった整備を行なった。	
教育環境の整備	小学校備品整備事業	小学校における備品の充実を図ることにより教育環境の向上につながる。	C
		各学校の特色に応じたコンピュータソフトを購入、授業等への活用を推進した。	
教育環境の整備	中学校教材・図書整備事業	学校図書館の図書及び教師用図書の整備により充実した学校教育が受けられる。	C
		学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。	
教育環境の整備	中学校備品整備事業	中学校における備品の充実を図ることにより教育環境の向上につながる。	C
		各学校の特色に応じたコンピュータソフトを購入、授業等への活用を推進した。	
教育環境の整備	私立幼稚園育成助成金	公立幼稚園が1園しかなく、それを補完する私立幼稚園の振興	B
		市内私立幼稚園6園に助成均等割及び園児数割(5月1日現在)	
教育環境の整備	小学校耐震診断事業	耐震診断を行い、基準を下回る施設を明らかにする。	B
		耐震診断を実施し、耐震評価・体力度診断を行なった。	

教育環境の整備	中学校耐震診断事業	耐震診断を行い、基準を下回る施設を明らかにする。	B
		耐震診断を実施し、耐震評価・体力度診断を行なった。	
教育環境の整備	原田小学校増築事業	教室を増築することで不足教室を解消する。	A
		基本設計、実施設計、建築確認申請、建築確認、国庫補助申請を行なった。	
教育環境の整備	筑紫小学校増築事業	教室を増築することで不足教室を解消する。	C
		企画、基本・実設計を行なう。 埋蔵文化財の試掘の結果、H21年度に本調査を行なう。合わせて砲弾調査も行なう。	
教育環境の整備	阿志岐小学校耐震化事業	安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境	A
		「安全・安心な学校づくり交付金」(地震防災対策特別措置法 平成20年度当初補正予算)の活用を決定、施設整備計画を見直し、耐震化補強工事を実施した。	
教育環境の整備	山家小学校耐震化事業	安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境	A
		「安全・安心な学校づくり交付金」(地震防災対策特別措置法 平成20年度当初補正予算)の活用を決定、施設整備計画を見直し、耐震化補強工事を実施した。	
教育環境の整備	筑山中学校耐震化事業	安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境	A
		「安全・安心な学校づくり交付金」(地震防災対策特別措置法 平成20年度当初補正予算)の活用を決定、施設整備計画を見直し、耐震化補強工事を実施した。	
教職員の資質の向上	情報教育推進事業	情報教育の活性化及び各教科においてコンピュータを有効に利用するために、コンピュータ機器を万全な状態にしておくことで、問題なく授業を行う。	C
		周辺機器の老朽化により買い替えが必要となるものが出てきた。教職員の視察研修は実施できなかった。	
教職員の資質の向上	小中学校教育研究指定校補助金	児童生徒への授業の力量を高める実践的研究を行い、指定校において公開授業等の研究成果を広く公開していく。	A
		研究指定校 1年目(二日市北小、二日市東小、天拝小、筑紫小、筑山中)2年目(天拝小、筑紫野中)3年目(吉木小、阿志岐小、筑紫野南中) 単年度(山口小:福岡地区小学校体育研究 大会) 福岡県研究指定委嘱・県重点課題(天拝小)3年目	
確かな学力の育成	外国語教育推進事業	日本語的英語ではなく、現地の英語や文化習慣に触れる時間を多くして、身近に触れさせている。	B
		ALT3名(内訳:JET1名,市単費2名)、年間派遣時数:約292時間/校(中学校)1,460時間実施。	
確かな学力の育成	少人数指導推進事業	学級や学校全体の人数を分割し、子ども一人ひとりに目が行き届くようきめ細かな指導を行い、学力の向上を図る。	B
		市費非常勤講師を3~4年生を対象に少人数指導を972時間実施	

豊かな心の育成	児童生徒等心の支援事業	指導員3名を配置し、心理的や情緒的に登校できない児童生徒への適応指導、また児童生徒や保護者のカウンセリング等で学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立を目指す。	B
		21年3月末現在17名の児童生徒が在籍 小学生3名、中1年1名、中2年6名、中3年7名 復帰者7名 3年生(7名:高校等進学) 20年度中は、19名の見学・相談あり、入級者10名であった。	
豊かな心の育成	スクールカウンセラー事業	中学校を中心に不登校やいじめ等の生徒を臨床心理の専門的な知識と経験を有する者によりカウンセラーで諸問題を解決していき、また保護者への助言援助をしている。	B
		基本的には、県(国庫補助事業)中学校5校に5名のカウンセラーを週1回8時間配置、35週間、市単独カウンセラー1名雇用 相談件数 5校合計:893件	
豊かな心の育成	心の教室相談事業	中学校に「心の相談員」を5名配置し学校における生徒の悩み等の相談を行い、ストレスを和らげて心にゆとりがもてることを目的としている。	B
		市内の中学校に心の教室相談員を配置し、不登校(232件)・学習(601件)・進路(30件)・友達(51件)・家族(23件)・健康(15件)・その他(904件)の相談実績があった。	
豊かな心の育成	中学校文化・体育奨励援助費補助金	学校体育・スポーツ・文化活動を通じて、規範意識の向上や道徳性を身に付けることができる。	B
		(文化) 5校:642,360円 (体育) 筑前大会:734,240円、 県大会:360,840円 九州大会:108,910円、 全国大会:452,810円 新人戦:700,840円	
豊かな心の育成	問題を抱える子ども等の自立支援事業	不登校、暴力行為、いじめ、児童虐待、高校中退への対応といった、学校が抱える課題について未然防止、早期発見・早期対応につなげる。	B
		平成20年度目標:暴力行為と授業抜け出しの未然防止】 活動内容 ・校内体制の確立と職員での共通理解 ・指導員等関係者との共通理解 ・事務局による活動内容の分析・評価 ・関係機関との推進会議 ・性格、自己充実感についての生徒指導 検査(年1回)	
健やかな体の育成	学校保健管理事業	健康診断を行うことで、児童・生徒及び職員の健康の保持増進を図る。	
		学校保健法による事業	

		一般健康診断（155名）胃検診（143名）尿検査（1次：8,926名、2次445名）ぎょう虫検査（6,083名）心臓（1次：1,960名、2次：79名）結核（1次：346名、2次：2名）学校検診（8,877名）就学前検診（1,021名）	B
健やかな体の育成	共同調理場給食運営事業	学校給食は、児童生徒に栄養のバランスがとれた食事を提供することにより、すべての児童生徒の健康増進と体位の向上を図っている。 市内の小中学校の児童生徒及び教師等に年間187日（約9,300食/日）の給食を共同調理場方式で実施した。	B
健やかな体の育成	心臓精密検査代補助金	心臓検診で異常が発見された児童生徒が精密検査を受診することで早期治療を行い義務教育に専念できる。 精密検査受診者 小1年7名、中1年5名、計 12名	C
健やかな体の育成	共同調理場施設改修事業（外壁改修）	老朽化した共同調理場を改修することで、適切な維持管理を行う。 20年度、改修工事終了	A
健やかな体の育成	給食会助成金	市学校給食会に助成金を交付することで、給食会の運営が円滑に行われる。 19年度は、給食会全体会を2回開催し専門部会として指導委員会の研修会を開催した。さらに、親子料理教室の開催、先進地視察研修を実施した。	B
就園、就学の支援	専修学校等技能習得資金貸与事業	就労に必要な技能及び知識の習得を図り、社会において有為な人材の育成を図る。 該当者なし	C
就園、就学の支援	学校就学援助・奨励事業	経済的な理由によって就学困難な児童生徒への義務教育の就学を円滑に行う。 援助児童生徒数実績 要保護：108人、準要保護：1,142人、合計：1,250人 特別支援就学奨励実績 小学校：33人、中学校：17人、合計：50人	A
就園、就学の支援	遠距離通学補助事業	遠隔地にある学校への通学支援を行うことで幼児教育、義務教育を受ける環境を整えることができる。 援助児童数 27人	B
就園、就学の支援	幼稚園就園奨励等事業	公立・私立幼稚園に在園している3・4・5歳児に幼稚園教育の振興を図るため、幼稚園保育料等の補助を行う。 公立2人、46千円（減免）私立1,161人、88,197千円	B
就園、就学の支援	奨学資金貸付事業	経済的理由によって進学又は修学が困難な生徒に対し学資を貸与し、有用な人材の育成を図る。 新規貸与者として、高校3名・大学2名を採用した。 高校6名、大学3名に対し継続して貸与を行った。	B
施策の総合推進	学校教育研究会補助金	教育研究会等にそれぞれの教職員が参加することで、当該専門的知識の習得や幅広い知識の習得を目指し、学校運営の円滑を推進している。 講演7回 ・実践発表2回 ・研修会1回	B

2. 青少年の健全育成

基本事業	事務事業	事業の意図	評価
		活動状況等	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	地域子ども会活動費補助金	<p>単位子ども会の活性化を図る。</p> <p>子ども達の体験活動を充実させるとともに、親の教育力を高め学習機会を充実させる。</p> <p>単位子ども会支援策として補助金総額2,754千円を交付した。交付単位子ども会数 68団体</p>	A
		<p>子ども向けの情報誌を作成し配布することにより子どもたちの体験活動の推進を図る。</p> <p>子ども情報誌「キッズ・ウインドー」の発行 「キッズ・ウインドー」29、30、31、32号 発行 7月、9月、12月、3月 各10,000部発行 配布先： 市内各小・中学校 9,300部 市内公共施設,民間施設,農協等 700部</p>	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	子どもセンター事業	<p>青少年関係団体の活動状況等の紹介、ボランティアバンク登録者の指導による昔遊び体験などにより、より多くの青少年が青少年プラザを容易に利用できるようになる。</p>	B
		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年関係団体の活動状況等の紹介 ・青少年プラザを利用した遊びの体験 ・青少年に関する情報のアピール ・チャレラン大会実施 期日：平成20年10月25日 内容「さいころころがし」「わなげ」 ・青少年事業の紹介展示コーナー 期日：平成20年10月25日・26日 	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	ロックフェスティバル事業	<p>生涯学習センター利用の青少年の組織化を図り、相互の連帯感を高め、利用マナーの向上を目指す。また、青少年の主体性・自主性を育成し、発表の場を提供することにより青少年の達成感を味あわせる。</p>	A
		<p>生涯学習センター利用の青少年の組織化を図り、相互の連帯感を高め、センター利用マナーの向上を目的にロックフェスティバルを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：平成20年8月24日（日） ・内容：バンド 11グループ ダンス1グループ ：ポスター展示（ロビー）市内高等学校からの作品を展示（93点） <p>参加グループによる自主的な企画会議、当日の運営が定着した。</p>	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	竜岩自然の家主催講座事業	<p>施設を取り巻く豊かな自然環境や学習資源を生かしながら、多彩な学習プログラムの提供を図り、利用者の自然体験活動等の体験者を増やす。</p>	A
		<p>市民の自然体験活動等の推進を図るための主催事業を実施した。</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> ・野外活動指導者養成学校 ・フリークライミング教室 ・ファミリーキャンプ ・炭焼き体験教室 ・その他 	
青少年の居場所づくり	青少年育成事業（BGレンジャー）補助金	<p>様々な体験活動や行事等を通じて心豊かな青少年の育成とまちづくりの推進を図る。</p> <p>心豊かな青少年の育成とまちづくりを推進するための事業支援策として、4事業に補助金総額400千円を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規分： 4件 400千円 	A
青少年の居場所づくり	子どもフェスティバル事業補助金	<p>子どもたちが、友達と協力しあって地域でいきいきと遊ぶことができている。</p> <p>子どもフェスティバルちくしの&第18回子ども市を実行委員会形式で実施 期日：平成20年4月29日 会場：カミーリヤ 内容：子ども市、昔遊びコーナー、ちびっこ遊びコーナー 人形劇、おもちゃ病院等</p>	A
青少年の居場所づくり	青少年プラザ事業	<p>青少年プラザを青少年の交流の場として開放し、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場として、また、情報提供や体験学習の場として提供することにより、青少年がいつでも気軽に集まることができる。</p> <p>青少年の交流の場、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場、また、情報提供や体験学習の場として提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによるぼらばんぷらざ（毎週水・土曜日実施） ・情報コーナー ・作品展示 ・こども向けのビデオ放映(毎週水曜日) ・様々な企画の実施 	B
青少年の居場所づくり	夏休み学校外活動事業	<p>地域の方との交流を通じて子どもたちに「世代間交流」や「同世代と一緒に、外で体を動かして遊ぶ楽しさ」を体験させることにより、子どもたちが地域の中での遊びを通じて生きる力を身につけ、また、地域全体で子どもを見守っていく環境を育てる。</p> <p>「ステキな夏休み教室」を旭東公民館で実施 ・開催場所：旭東公民館 参加者：35名 期日：1回目 7月24日、25日、26日、27日 2回目 8月21日、22日、23日、24日 ボランティアスタッフ： 遊び 10名、料理 29名</p>	A
青少年の居場所づくり	放課後子ども教室事業	放課後や週末に小学校の余裕教室等を使用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文	A

		化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりを図る。	
		平成19年度から開始する事業である。 2ヶ所で実施(二日市小校区、天拝小校区) 週2回	
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助金	市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された筑紫野市子ども会育成会連絡協議会を支援する。	A
		団体支援策として補助金495千円を交付した。 ・子ども会リーダーカール ・子ども会サミットin竜岩 ・カルタ大会 ・レクリエーション講習会 ・総会・研修会	
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市ジュニア・リーダーズ・クラブ連絡協議会補助金	ジュニア・リーダーの育成に取り組む団体を財政的に支援する。	B
		レクリエーション講習会 ・芸術・文化部門 マーチングバンド・クラブ ・体育・スポーツ部門 ソフトテニス	
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市青年団体連絡協議会補助金	青少年育成市民会議を通して、青少年の健全育成に資する団体とする。併せて、社会貢献活動を実施する団体とする。	C
		団体支援策として補助金30千円を交付した。 ・各団体の情報交換を通じて青年層の連携を図った。 ・生涯学習フェスティバルにおいて青少年プラザで陶芸教室を昨年に引き続き開催し団体の活動をアピールした。	
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市青少年育成市民会議補助金	青少年の健全育成に係る団体、機関の中心的役割を果たす活動を支援する。	A
		団体支援策として補助金200千円を交付した。 ・市民フォーラム：テーマ「いじめをなくすにはどうすればよいか」 5中学校、4高校の代表によるパネルディスカッション ・青少年の健全育成に係る情報交換	
青少年指導者の確保、育成	子ども会リーダースクール	子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営される。	A
		新リーダースクール(2月) 参加者346人(一般参加215人 育成会94人 スタッフ37人) ・春スクール(ニュージェネレーションスクール)(6月) 参加者124人(一般参加86人 講師等4人 スタッフ他34人) ・秋スクール(子ども会あそび広場)(10月) 参加者80人(一般参加31人 リーダー24人 スタッフ25人)	

青少年指導者の確保、育成	子ども会育成会指導者研修会事業	子ども会活動を支援する育成会の役割とその支援のあり方を学ぶことにより子ども会育成会が円滑に運営される。	A
		各種研修会の実施、参加 ・市主催指導者研修会 ・福岡ブロック子ども会育成会指導者研修会 ・九州地区子ども会育成研究会議 ・筑紫地区少年団体等指導者研修会	
青少年指導者の確保、育成	青少年指導員事業	青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るため筑紫野市青少年指導員を置く。	A
		青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るための活動を行った。 小学校区別巡回・筑紫地区一斉補導 ・役員会における情報交換 ・校区別主催事業：筑紫小フットベースボール大会 山家小一泊研修 ・研修会：教育講演 「筑紫野市学校教育の実情と課題」 ・視察・研修：県立福岡学園との交流 ・校区別意見交換会	
青少年指導者の確保、育成	YOU遊(ダッシュ)事業	体験活動を通じ、ボランティアに関する意欲を喚起すると共に、地域情報の提供により社会参加のきっかけにより、青少年のボランティア活動のリーダーとなる。	C
		参加者が少なく活動できていない。	
環境浄化活動の推進	筑紫野市青少年指導員会補助金	青少年指導員の自主的活動を支援する。	A
		団体支援策として補助金90千円を交付した。 小学校区別巡回・筑紫地区一斉補導 ・役員会における情報交換 ・校区別主催事業：筑紫小フットベースボール大会 山家小一泊研修 ・研修会：教育講演 「筑紫野市学校教育の実情と課題」 ・視察・研修：県立福岡学園との交流 ・校区別意見交換会	
環境浄化活動の推進	少年補導員会事業	他市町の補導員会と連携協力し、必要な研修会を実施することにより、少年の非行を防止する。	A
		青少年の健全育成、非行防止のための事業を実施 ・毎月開催の定例会において情報交換 ・校区内危険箇所の巡回 ・視察・研修：西部少年サポートセンター(下関市)	
悩み相談、思春期教育の充実	ヤングテレホン相談事業	青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行うことにより、青少年の非行防止と健全育成を図ることを目的とする。	A

		<p>青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談総数：415件 ・PRカード配布 7月 6,968枚（市内各小中学校） 12月 ” 	
施策の総合推進	成人式事業	<p>成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。</p> <p>「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ことを目的に式典を実施（実行委員会により）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：平成21年1月12日 実施 ・会 場：筑紫野市文化会館 ・参加者：867人(出席率 69%) ・内 容：記念式典、恩師からのメッセージビデオ、抽選会 	A
施策の総合推進	おやじ講座推進事業	<p>青少年の健全育成が社会的に求められている今日、父親の子育てへのかかわりが課題となっている。そのため、父親及び子育てに関わる男性の学習機会等を提供する。</p> <p>1件申請 1件交付</p>	A

3. 生涯学習・社会教育の推進

基本事業	事務事業	事業の意図	評価
		活動状況等	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	小地区公民館講座推進事業	<p>小地区公民館における主催講座の開催を促し、学習支援の推進を図ることにより、市民ニーズに応じた学習機会が提供される。</p> <p>小地区公民館では、教育・実用・趣味等多岐にわたり、いろんな学習が行われている。地域の活性化、まちづくりにつながる学習効果は高いと思われる。</p> <p>平成20年度新規講座開設数 教育：5講座、教養：13講座、健康：1講座、実用：1講座、文化：3講座、合計：23講座</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	学びをつなぐ講座	<p>人権尊重の明るいまちづくりのため、学習を通し人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>開講式講話 「みんなが主役」 館外学習 リデル・ライト両女史記念館 講座 「それぞれの生き方に学ぶ」、 閉講式講話 「生き方を見つめなおす～今、私たちは何を考えるべきか～」 参加59人</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	ちくしの高年大学	<p>高齢者が豊かな経験を生かして社会参加を実践するための学習ができるとともに、受講生相互の親睦が深まっている。</p> <p>受講生数144名</p>	B

		<p>1.教養講座9回（開講式、閉講式を含む） 生き方1回 社会参加1回 異文化2回 伝統文化1回 文化1回 男女共同1回 開・閉講式</p> <p>2.専門講座14回 郷土史 太極拳 絵画 合唱 紙版画 ケアビクス</p> <p>3.クラブ活動8回 社会参加のための技術実習</p> <p>4.世代間交流事業 夏休み工作教室</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	ビデオ編集機器等操作技術講習会	<p>市民が視聴覚機器の操作技術を学ぶことができ、視聴覚室の機材が使えるようになる。</p> <p>定員は少ないが講習会の成果は上がっている。</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	視聴覚教育・視聴覚ライブラリー事業	<p>生涯学習センターの視聴覚機材・教材を活用してもらうことにより、市民のニーズに応じた学習ができるようにする。</p> <p>教材一覧を各機関等へ知らせることにより貸し出しが拡大、HPにVT教材等の一覧を掲載し、教材の検索ができるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライド映写6回 ・スクリーン19回 ・ビデオプロジェクター館外貸出し10回 ・ビデオテープ館内、館外貸出し本数 1,734回 ・野外アンプ26回 ・パネル14回 	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	いきいき人権ライフセミナー	<p>身近にある差別や人権問題をテーマとした学習の機会を提供し、人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>平成20年度学習内容（4回） 学校なんか行きたくない！（不登校のさまざまな要因を探る） 不登校だっていいじゃないか！（不登校の子どもたちの現状を探る） 不登校よ、どんとこい！（学校の取組みから不登校の解決の糸口を探す） 不登校って何だろう？（不登校を起こさないために、私たちができることを探る）</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	まちをみつめよう学級	<p>身近な生活課題を学習し「まちの政治」を正しく理解し、明るい選挙の推進を図るとともに、地域のリーダーを育成する。</p> <p>学級生のそれぞれが問題意識を持ちながら学習に臨んでいた。選挙管理委員会事務局との共催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑紫野市の重点施策について ・「市民協働のまちづくり」推進基本方針 ・「コミュニティづくり」基本方針 ・出前講座「福岡県の財政・地方分権の推進」 	B

		<ul style="list-style-type: none"> ・市議会傍聴、市長との懇談会 ・館外学習「クリーンヒル宝満」 																						
学習ニーズに応じた学習機会の充実	コミュニティ主催事業	<p>地域の豊かな学習資源を生かした学習機会の提供をはかり、学習の成果を活かして、地域やコミュニティ施設における生涯学習活動や地域活動に参画する。</p> <p>コミュニティ施設において主催講座を開催し、市民の学習機会を提供した。</p> <table border="0"> <tr> <td>・二日市コミセン</td> <td>7講座</td> <td>104人</td> </tr> <tr> <td>・山口コミセン</td> <td>6講座</td> <td>123人</td> </tr> <tr> <td>・御笠コミセン</td> <td>10講座</td> <td>144人</td> </tr> <tr> <td>・山家コミセン</td> <td>6講座</td> <td>107人</td> </tr> <tr> <td>・筑紫多目的集会施設</td> <td>7講座</td> <td>204人</td> </tr> <tr> <td>・筑紫南コミセン</td> <td>10講座</td> <td>266人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>46講座</td> <td>948人</td> </tr> </table>	・二日市コミセン	7講座	104人	・山口コミセン	6講座	123人	・御笠コミセン	10講座	144人	・山家コミセン	6講座	107人	・筑紫多目的集会施設	7講座	204人	・筑紫南コミセン	10講座	266人	合 計	46講座	948人	B
・二日市コミセン	7講座	104人																						
・山口コミセン	6講座	123人																						
・御笠コミセン	10講座	144人																						
・山家コミセン	6講座	107人																						
・筑紫多目的集会施設	7講座	204人																						
・筑紫南コミセン	10講座	266人																						
合 計	46講座	948人																						
学習ニーズに応じた学習機会の充実	ちくしの文化講座	<p>市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動が行われている。</p> <p>高度化、多様化する市民の学習ニーズに応じた学習の機会を提供する。</p> <p>趣味教養講座 293人(定員527人)延3,623人</p> <p>・定期講座：23講座 ・1日体験講座：9講座 (ジュニア講座・音楽講座・暮らし実用講座・手芸工芸講座・外国語講座・文学講座・歴史講座・一日体験講座)</p> <p>・料理講座28講座、347人(定員584人)延738人</p> <p>・パソコン講座35講座、371人(定員700人)延1,587人</p>	B																					
学習ニーズに応じた学習機会の充実	ちくしの文化塾	<p>時事問題、政治経済、教育等幅広く話題を提供し、市民の学習活動が行われている。</p> <p>人々の文化・教養の高揚を図ることを目的とする文化講演会</p> <p>9/13(土) 島田 誠、テーマ『プロ野球・苦難を克服する方法』来場者：247人</p> <p>10/11(土) 鳥越 俊太郎、テーマ『命を見つめ直す』来場者：288人</p> <p>11/22(土) 佐木 隆三、テーマ『法廷の中の人生』来場者 236人</p>	B																					
学習ニーズに応じた学習機会の充実	生活学校連絡会(補助金)	<p>生活学校相互の連絡をはじめ生活学校運営の情報交換を行い消費生活の向上を図る。</p> <p>各生活学校の運営や活動を協議し消費生活の向上に取り組む運動を今後も継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑婦生活学校 ・大根地生活学校 ・みかさ生活学校 ・塔原東生活学校 ・環境・教育・福祉・くらし等の諸問題の取組み 	B																					

<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>女性大学講座 (補助金)</p>	<p>趣味的なものから学術的なものまで多面にわたる講座を開催することにより女性の地位向上を図る。</p> <p>女性の地位向上を目指して、学習活動に取り組んだ。学習プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 21世紀に求められる人材とは ・ 子どもの虐待と地域での子育て支援 ・ 九州・福岡の経済 現状と将来見通し ・ もういちど憲法を見なおす ・ 教育改革を考える ・ 差別と人権に出会い続けて ・ 政治と文学に見る20世紀の女性像 ・ 日本の国際化と在日外国人の人権 ・ 樋口一葉の文学 	<p>B</p>										
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>生涯学習センター自主学習グループ連絡会補助事業</p>	<p>自主学習グループの成果を持ち寄り、市民に公開・交流を行う。</p> <p>自主学習まつり(生涯学習フェスティバルに参画)実行委員会を結成し4回開催(反省会を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ステージ発表 28グループ ・ 作品展示 19グループ ・ 体験学習 1グループ ・ バザー出展 4グループ ・ グループ紹介冊子発行 ・ スタンプラリー実施 ・ 館外学習(93人)玄海原子力発電所 ・ 館内学習(34人)裁判員制度について ・ 総会 1回 ・ 四役会10回 ・ 理事会11回 ・ 代表者会8回 ・ 相談日 6回 	<p>B</p>										
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>筑紫南コミュニティセンター図書室運営</p>	<p>図書室の事業を活用し、学習活動や地域住民の交流により地域づくりが展開される。</p> <table border="1" data-bbox="622 1232 1356 1456"> <tr> <td>図書室の開館日数</td> <td>243日</td> </tr> <tr> <td>図書室主催講座</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>折り紙教室</td> <td>43回</td> </tr> <tr> <td>布の絵本の演じ方講座</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>13,610人</td> </tr> </table>	図書室の開館日数	243日	図書室主催講座	11回	折り紙教室	43回	布の絵本の演じ方講座	1回	利用者数	13,610人	<p>A</p>
図書室の開館日数	243日												
図書室主催講座	11回												
折り紙教室	43回												
布の絵本の演じ方講座	1回												
利用者数	13,610人												
<p>家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実</p>	<p>生涯学習ボランティア事業</p>	<p>市民がボランティアバンク事業を活用し、地域づくりや学習活動が展開されている。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア派遣コーディネート ・ ボランティアバンク通信の発行情報提供 ・ ぼらばんぶらざ(毎週土曜日午後) ・ 里山ウオキング(毎月第1土曜日) ・ 地域活性化事業「このゆびとまれ」 <p>平成20年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア登録者 1,270人 ・ ボランティア派遣件数 361件 ・ ボランティア派遣人数 個人815人 	<p>B</p>										

		<p>団体32 (435人)</p> <p>・ 市民利用者数 45,605人</p>	
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	生涯学習フェスティバル	<p>学習グループが日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。</p> <p>日時 平成20年10月25～26日</p> <p>・ 参加団体(人数)143団体 (1,890人)</p> <p>・ 観覧者数 2日延べ 7,200人</p> <p>事務担当者会議2回、 パープルプラザ部会の企画会議2回、 事務局内協議5回、 実行委員会2回</p> <p>パープルプラザ部会2回</p> <p>各担当会議</p> <p>・ イベント広場担当 5回 ・ 広報、受付担当 5回</p> <p>・ 会場用具担当 5回 ・ ステージ担当 5回</p> <p>反省会</p>	B
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	市民大学講座	<p>市民の学習機会とニーズに応え生涯学習の推進に努めることにより、家庭や地域の教育力が高まる。</p> <p>男女共同参画に向け、環境・人権・福祉教育などの問題をテーマとして世代、性別を超えた学習ができてきた。</p> <p>・ 日本のゆくえ</p> <p>・ 新聞から見る九州経済</p> <p>・ 教育改革の動向と学校教育の課題</p> <p>・ 憲法この1年</p> <p>・ 本、子育て、介護、そして命</p> <p>・ 老いと人権</p> <p>・ 文化財保存の科学</p> <p>・ 美しい国を作るために何をすればよいのか</p>	B
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	家庭教育学級	<p>『子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親となる』ことを目的とする。家庭教育学級間の情報交流を行い、合同企画事業を実施することにより、各家庭教育学級における活発な学習活動により家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>5月合同開講式 271人</p> <p>講演：齊藤真人(立花高等学校校長)</p> <p>6月合同レクリエーション 167人</p> <p>10月合同社会見学 157人</p> <p>11月合同研修会 300人</p> <p>全体会講演：「子どもの権利を大人が知ろう」</p> <p>講演：お母さん自信を持って子育てを</p> <p>講師：大谷辰雄弁護士</p> <p>3分科会講師：土岐圭子,古賀彩子,会沢芽美</p> <p>各学級での学習活動 6回～9回</p> <p>文集「あゆみ」作成</p>	B
文化財・文化芸術	ちくしの子ども	地域の中で子どもたちがいきいきとした「子ども時代」	

活動の充実	劇場補助金	を過ごすための環境づくりを目指す。また、子どもたちに芸術に親しむ心と感受性を育てるとともに、芸術文化活動への参加意欲を喚起する。	A
		人形劇まつりをはじめとするイベントに積極的にに関わり、地域文化の発展に貢献している。	
文化財・文化芸術活動の充実	文化団体連合会補助事業	連合会への加盟団体が増加し、市民の芸術文化事業が盛んになること。連合会の事業が継続され、多様な事業がおこなわれること。安定した運営がおこなわれること。	B
		市民協働のまちづくりを推進した。	
文化財・文化芸術活動の充実	史跡保存管理事業	文化財の保存・管理を適正に行う。	B
		遺跡等の維持・管理・保存のための対策を行った。	
文化財・文化芸術活動の充実	展示教育支援事業	地域への理解を深め、市民の自治能力の向上を図る。 市民に対し、学習意欲の喚起を促し、地域学習の推進を図る。 市の施策・事業や市民活動に対し、資料提供、助言を行なうと伴にこれを支援する。 学校教育に対し、資料提供、並びに教育支援を行なう。	A
		企画展/3事業 比 ^レ -展/ジ ^ニ ア学芸員連動事業(年間)、コ ^ナ -展/2事業 学芸員関係/3事業 講座等 ・博物館の幼児初等教育(6回/8・9月) ・実践考古学講座(第1・4火曜日) ・筑紫野織の会(第1・3金曜日) ・回想法(随時)/福祉部門連携事業 ・市民文化ゼミナール(6/17・9/22) 支援事業/3事業、単発事業/5事業、共同事業/4事業 学芸員派遣/10件、資料貸出/469点、資料閲覧/162点	
文化財・文化芸術活動の充実	資料収集保管事業	資料を収集し、適切に保存・管理することにより、活用できる状態にする。	B
		畳み上がり台を製作し、年度後半からボランティア活動の充実を図った。 掛け資料の展示・収蔵用の格子を製作し、スペースの有効利用を図った。	
文化財・文化芸術活動の充実	ちくしの人形劇まつり実行委員会補助金	芸術作品の創作、人形劇の鑑賞を通して、ゆとりある心豊かな青少年・少女を育てる。	A
		20年度より会場を文化会館に移した。また、実行委員会内に広報担当と企画担当を設け、委員に企画・運営を担ってもらった。その結果、多数の観客に恵まれ大成功であった。	
文化財・文化芸術活動の充実	山家岩戸神楽保存会補助金	市指定無形民俗文化財「山家岩戸神楽」を伝承保存していくための保存会の活動が円滑に行われる。	B
		10月17日 神楽奉納	

		11月 山家地区文化祭出演 6月～3月 山家小学校「神楽クラブ」指導	
文化財・文化芸術活動の充実	エヒメアヤメ保存会補助金	市指定天然記念物「平等寺エヒメアヤメ」の保護育成のため子ども会育成会活動が円滑に行われる。 毎月に観察手入れ、年3回の草刈11月の施肥	B
文化財・文化芸術活動の充実	市指定文化財（長者の藤）管理補助金	観光資源でもある市指定天然記念物「長者の藤」の育成保護が行える。 5月 花の房切り（枯れた花すべて）、廃棄処理、消毒（毛虫等駆除）。 7月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除） 9月 徒長つる除去、剪定 2月 藤棚竹組替え（棚竹、竹を結ぶ縄の交換）施肥、徒長づる・枯枝と苔等の除去と手入れ、結界棚等の交換、古竹廃棄処理、消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除）	B
国際交流の推進	国際交流事業	国際感覚（市民一人ひとりが豊かな人権感覚を背景に、文化や価値観、さらに環境を共有し、お互いの違いを敬い理解と共生の意識を持つこと）を持った市民を増やすとともに、住みやすいと思う外国人を増やす。 国際化行動計画に基づいて関係各課の進捗状況調査を実施した。状況としては財政再建計画による予算の確保や人的配置ができず、実施に至ってない課が殆どである。行動計画を実施しようとするれば予算とともに人員の配置などが必要であり、今の状況では実施は難しいと思われる。	C
国際交流の推進	アジア太平洋子ども会議招聘事業	この事業に係わった人が、肌の違い、ことばの違い、文化の違い等の体験を通して、互いの違いを認め、互いを尊重し理解できる人権感覚を身につけた市民にする。 アジア太平洋子ども会議・イン福岡の招聘事業により、ベトナム社会主義共和国の子ども大使8名を受入れ、ホストファミリー宅でのホームステイや二日市北小学校での体験通学・学習などを通じて互いの文化に触れ、交流を図った。（7月実施）	A
社会教育施設の充実	小地区公民館設置補助	小地区公民館が地域のまちづくりや生涯学習などの活動拠点施設となっている。 平成20年度実績 緊急工事 3件、 台風被害 0件 用地購入 0件、 新築 2件 補修工事 11件、 計 16件	B
社会教育施設の充実	アンビシャス多世代交流センター建設事業	教育施設が整備され、生涯学習、社会教育活動が実践される。 建設完了	A
社会教育施設の充実	図書館運営事業	すべての市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民が本に親しむ。 平成20年度図書館運営事業指数	B

		<ul style="list-style-type: none"> ・貸出総冊数 802,797冊 ・利用者総数 156,698人 	
社会教育施設の充実	図書・視聴覚資料購入事業	<p>文化と教養が高まる。 図書資料等購入により読者の要望が満たされる。</p> <p>平成20年度図書・視聴覚購入事業図書等購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書、視聴覚資料 22,699,417円 ・新聞、雑誌等 3,527,270円 <p>情報作成委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚、書誌情報作成委託料 2,480,520円 	B
生涯学習情報の共有化と充実	生涯学習情報提供事業	<p>生涯学習施設や学習に関する情報を得ることができる。</p> <p>年間240件程度の学習・イベントなどの照会、利用学習グループ150件の照会、ボランティアバンクの照会を行った。</p> <p>掲示板掲示300件程度</p>	B
施策の総合推進	筑紫地区社会教育振興協議会（公民館部会）	<p>筑紫地区における公民館事業等の現状や課題などの情報交換を行い、公民館活動が活性化している。</p> <p>社会教育公民館事業についての学習会研修会や4市1町での事業の情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館担当者会議（7回） ・福岡地区公民館研修会実行委員会（2回） ・福岡地区公民館研修会（2月） <p>尚、平成20年度筑紫地区自治公民館長・主事研修会は福岡地区公民館研修会が筑紫地区であったことから取りやめた。</p>	B
施策の総合推進	小地区公民館連絡協議会補助事業	<p>市内の各小地区公民館活動を充実させることにより、市民が学習活動、地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるようになる。</p> <p>平成20年度小公連総会・常任理事・理事会 小地区公民館館長・主事研修会 福岡県公民館大会（朝倉市） 九州地区公民館研究大会（宮崎市） 小公連推進大会 地区別視察研修（御笠・筑紫・山口・二日市） 全市視察研修会（山家地区） 福岡地区公民館研修会（大野城市）</p>	B
施策の総合推進	小地区公民館主事設置補助事業	<p>地域における社会教育活動の振興を図るため、公民館主事を設置することで、生涯学習活動・地域活動が活性化し公民館が地域の交流の場や地域活動の拠点になる。</p> <p>地域における社会教育活動の振興を図るため、小地区公民館主事の設置を促進することを目的する。</p> <p>対象小地区公民館数 84館</p> <p>二日市地区 792,000円、筑紫地区 660,000円 山口地区 432,000円、山家地区 240,000円</p>	B

		御笠地区 468,000円、 合計 2,592,000円	
施策の総合推進	市立学校PTA協議会補助金	各学校とPTAとの連携を深めることにより、児童・生徒の健全な育成と保護者・教職員の資質向及び教育の振興を図る。 団体支援策として補助金432千円を交付した。(27千円×16校) 協議会の活動内容 広報研修会、委員合同研修会、市長・教育委員会・校長・会長合同懇談会、スポーツ研修会、人権問題研修会	B
施策の総合推進	市婦人会補助金	女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。 女性の地位向上と社会参加をめざし、各機関団体と協力し、地域の福祉活動にも貢献した。 女性大学(婦人会主催)49回、市民大学(委託事業)8回 女性問題講座6回、小学生書道・絵画・そろばん教室(青少年健全育)楽しくクッキング(子育て支援)6回、生活学校7回、婦人会同和教育推進21回、消費者友の会6回、古紙回収活動6回	B
施策の総合推進	各地区婦人会補助金	女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。 男女共同参画・環境・福祉問題の学習 地域の人と一緒に行事に取り組んでいる。 環境活動(資源ゴミ回収、廃油石鹸づくり) 地域文化祭、敬老会などの地域での活動	B
施策の総合推進	生涯学習推進事業(嘱託職員)	市民の協働による地域づくり、地域の教育力向上 生涯学習・社会教育事業推進のため地域活動指導員および社会教育指導員を配置 ・社会教育指導員 28名 ・生涯学習課(総務担当2名・青少年担当3名・推進担当6名・コミセン16・名生涯学習センター1名) ・地域活動指導員 2名	B

4. スポーツ・レクリエーションの推進

基本事業	事務事業	事業の意図	評価
		活動状況等	
スポーツ施設の充実	中学校ナイター施設運営事業	ナイター設備のある2校のグラウンドを夜間開放することにより、スポーツの場の提供と、生涯スポーツの奨励を図る。 利用者数(平成19年度) ・筑紫野中 3,912人 ・筑山中 1,317人	B
スポーツ施設の充実	小中学校開放体育施設運営事業	小中学校体育施設を社会体育施設として開放し、各種スポーツの場の提供と、各種スポーツ団体及びグループの交流を促し、生涯スポーツの奨励を図る。 小中学校16校の開放を行っている。	B

		<p>毎年1回学校開放運営委員会を開催し、定期団体の利用調整している。</p> <p>定期団体以外の利用者の利用調整の実施</p>	
スポーツ施設の充実	小学校プール市民開放事業	<p>多くの市民がプールを利用し、市民の体力向上と水泳の振興が図られる。</p> <p>利用可能プール：市内全小学校 11校 開設時間：10：00～17：00（12時～13時は中断） 利用期間：小学校11校のプールを夏期休暇期間（7月21日～8月19日） 利用時間：2時間を上限に設定 受益者負担：無料 運用体制：委託で実施 受付1名 監視員4名 実施日：26日間</p>	A
スポーツ施設の充実	農業者トレーニングセンター運営事業	<p>スポーツの楽しさ、健康の増進等を図るため、多くの市民が利用できるような適切な施設の提供、講習会及び教室、イベントを開催する。</p> <p>利用者が増加傾向にある。</p> <p>・全体利用者数 76,980人 トレーニングルーム利用者 登録者数：4,664人（H.20.3.12現在） 平成19年度利用者数：210人</p>	B
年齢や体力に応じたスポーツの振興	市体育協会補助金	<p>体育協会を支援し、協会に加入する様なスポーツ団体の活動を促進させることで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることが出来る環境づくりを推進し、スポーツの振興を図る。</p> <p>平成19年度加盟団体数：20団体+少年スポーツ団体 平成19年度加盟人数：5,101人 定期的に執行部会、理事会、評議委員会を開催 主催事業として、「宝満つばきマラソン大会」・体協研修会（111名参加）等を実施している。</p>	A
年齢や体力に応じたスポーツの振興	生涯スポーツ振興事業	<p>生涯スポーツとして各種のスポーツ教室等を開催し、各種のスポーツを体験することにより、自分にあったスポーツを日常生活の中に取り入れる環境づくりをする。</p> <p>平成19年度 ・ソフトテニス初心者・初心者弓道・1日テニス ・ゲートボールの大会、初心者教室等が実施された。</p>	B
幼児・児童・生徒のスポーツ機会の充実	学校週5日制推進事業	<p>市内小学校11校の体育館及び運動場を毎週土曜日午前中を開放することで、親子や地域子ども会等が自由に利用することで、日頃味わうことができない体験をさせる。</p> <p>体育館・運動場開放延べ日数：407日 1日当り利用者平均：20人、1日当り利用者最大：約200人 1日当り利用者数最小：0人、利用者数0の延べ日数：69日</p>	B

年齢や体力に応じたスポーツの振興	各校区体育振興育成補助金	各校区体育振興会を支援し、各校区の体育振興会で市民一人ひとりが、積極的に参加できるスポーツ・レクリエーションの年間事業を企画立案し、実施しながら、年齢や体力に応じたスポーツの振興を図る。	B
		10校区の体育振興会で、スポーツ・レクリエーションが振興会主催で開催された。 吉木・阿志岐校区合同の御笠地区体育振興会が、結成された。	
年齢や体力に応じたスポーツの振興	市民体育祭補助金	市民がスポーツ・レクリエーションをする機会をつくり、多くの市民が参加している。	B
		平成19年10月7日(日)に一斉に実施 筑紫小学校区(9/30) 天拝小学校区(5/27)は、小学校体育会と合同で開催。 筑紫東小校区(11/11)ウォークラリーとレクリエーションを組み込んだゲーム 7校区は運動会形式で開催(阿志岐小と吉木小は合同開催)	
年齢や体力に応じたスポーツの振興	天拝山ロードレース大会実行委員会補助金	ロードレースの開催することにより、生涯スポーツを推進し、健康の増進及び体力の向上につなげる。	B
		平成19年11月23日に実施 選手参加者 10.0km:126人、5.0km:244人、2.5km:166人、万葉の筑紫路:177人、計713人、スタッフ等350人 総計1,063人参加	
年齢や体力に応じたスポーツの振興	代替市民プール利用費補助金	多くの市民がプールを利用し、市民の体力向上と水泳の振興が図られている。	B
		利用者合計392人 (通年)大人:82人、子ども:11人 (夏季)大人:26人、子ども:273人	
年齢や体力に応じたスポーツの振興	各種事業・教室開催事業	各種事業・教室を開催し、市民の健康増進や地域のコミュニティ作りのために多くの方が参加する。	B
		(大会) ・水泳大会:約329名参加 ・市民駅伝大会:39チーム351名参加 ・いきいきウォークラリー:約125名参加 (教室) ・生涯スポーツセミナー:112名参加 ・福祉レクリエーション講習会113名参加 ・サマーチャレンジクラブ240名(延べ) ・にこにこヘルシー教室2,606名(延べ) ・ちくしのヘルシー教室2,506名(延べ) その他様々な教室開催	
指導者・ボランティア	体育指導委員運	体育指導委員の能力を向上させ、地域に対してスポーツ	

イアの育成	営事業	に関する指導・助言やスポーツに関する事業の支援を行うことにより、スポーツの振興を図る。体育指導委員を設置し、住民に対して、スポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言を行いスポーツ振興を図る。	B
		委員長・部長会及び体育指導委員会を毎月それぞれ1回開催し、各地区の連絡調整や体育指導委員の研修、市や団体の行事運営等へ協力を行っている。 地域活動への実技指導の実施	
施策の総合推進	全国大会出場補助金	全国大会に出場する個人・団体に対して、筑紫野市における社会体育に寄与し、今後の貢献に期待できるものとして支援する。	B
		全国大会等出場者への支援 全国大会等出場者 67人	

認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成

5. 人権意識の向上

基本事業	事務事業	事業の意図	評価
		活動状況等	
市民・企業への人権意識の啓発	人権問題啓発実行委員会運営事業	すべての市民に人権意識の大切さを理解してもらう。	B
		82行政区中81行政区58会場にて市民懇談会が開催された。機関団体研修については、18団体実施、3団体が未実施	
市民・企業への人権意識の啓発	人権・同和問題啓発冊子の編集・発行事業	人権問題に対する正しい認識と人権感覚豊かな市民の育成によって、人権が侵害されない市民生活ができるようになっている。	B
		解放への一步第34集 10月15日発刊 広報「人権問題特集号」12月1日発刊 市内全世帯配布、発刊部数 各38,000部 人権作文集「くさび」3月1日発刊 児童・生徒を介してPTA及び公共施設を通して配布 発行部数 11,500部	
市民・企業への人権意識の啓発	行政区人権問題推進委員会育成助成金	市民の共同生活の場である行政区ごとに組織的な人権問題啓発活動の推進と学習活動を展開することによって、人権問題の早期解決を目指し、市民一人ひとりが人権意識の高揚に努め、人権を守り、差別をしない、させない、豊かな地域社会を実現する。	B
		82行政区中81行政区において行政区人権問題啓発推進委員会が組織され、啓発活動が行われた。小学校区ごとの推進員研修会は、11校区のうち10校区実施。	
同和問題の解決	促進指導事業	同和地区の児童生徒をはじめ、学習支援を要する児童生徒の学力が向上させる。	B
		学校教育指導主事の研修教材購入	
同和問題の解決	同和問題啓発強調月間事業	同和問題の解決を、市民が自らの課題として捉え、差別を許さない意識の徹底を図るため各種の啓発事業を集中	

		的に実施し、差別を許さない社会づくりの構築に向けて取り組みを展開する。	
		<p>1. 7月同和問題講演会（参加者 710名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作太鼓（二日市北小児童） ・講演と講談「人の心に潜む差別」、講師：旭堂南陵さん <p>2. 街頭駅頭啓発</p> <p>3. 各課職員研修会</p> <p>その他の事業を事業計画に基づき実施</p>	B
同和問題の解決	筑紫野市同和教育研究会運営費補助金	筑紫野市同和教育研究会の運営を助成し、部落差別をはじめとするあらゆる差別からの解放を目指す人権・同和教育を実践している。	A
		年間事業計画に基づき、研究大会、学習会、講演会等を開催	
施策の総合推進	同和教育推進5中学校区事業補助金	5中学校区の児童・生徒の人権尊重意識が高まり、一人ひとりを大切にする人権・同和教育が推進されている。	B
		めざす子どもの姿をもとに、本時のねらいと教科・領域のねらいの整合性や関連化を図るための相関関係を明らかにしながらカリキュラム化をすすめることができた。	
施策の総合推進	指導者養成講座	女性問題講座の学習活動を通して「部落差別をはじめとする様々な差別の存在に気づき、地域での実践活動を通して人権思想を暮らしの中に生かし、一人ひとりの豊かな生活や幸せな未来を築くため」地域社会において核となり得る指導者を育成する。	B
		6月から2月まで、「教育問題」「人権問題」「女性史」「部落問題」をテーマとして講座を開催した。	
施策の総合推進	筑紫地区社会教育振興協議会運営事業	筑紫地区における社会人権・同和教育の現状や課題、取り組み等の情報交換を行うとともに、同和問題をはじめとする人権問題の学習、研修機会の提供を図り、社会人権・同和教育の振興と発展を期することを目的とする。	B
		<p>担当者研修会</p> <p>啓発情報交換会</p> <p>県社会人権同和教育担当者協議会研修会</p> <p>筑紫地区社会教育関係職員同和問題研修会</p> <p>当番事務局として、研修企画等を実施した。</p>	
同和問題の解決	識字学級	同和地区の住民が文字を学び、自己実現のための様々な学習により差別に負けない力量が培われている。	
		<p>文字学習を中心とした学習</p> <p>人権問題を基本に生活文化向上の学習</p> <p>人権尊重のまちづくりを推進するための学習</p> <p>の柱を事業に取り組む</p>	B
		<p>担当者 学級生</p> <p>京町識字学級 87人 160人</p>	

		美咲大学 52人 97人 岡田解放学級 30人 22人 永岡識字学級 36人 67人 合 計 205人 346人	
同和問題の解決	解放子ども会	日常的な子ども会活動や社会体験等を通して、自らの社会的立場を自覚し、差別に負けない、許さない強い意志と実践力をもった子どもの育成を目的とする。 社会体験向上と生活指導学習支援活動 (社会体験を豊かにし、自己成長と仲間づくりの学習支援活動を行う) 対象人数 京町 70名(小・中・その他含む)、下見 47名 岡田 12名、永岡 12名 指導者:教務課派遣職員、小・中学校教職員等	B
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金(女性部)	同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。 研修会107人 全体学習会94人 健康学習会72人 定期学習会319人 役員会147人 体験活動51人 地域交流事業活動30人 その他の活動3,167人 合 計 3,987人	B
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金(子ども会)	同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。 野外活動111人 体験学習50人 館外研修41人 平和行進25人 研修会78人 交流活動78人 地域交流事業30人 日常的学習・活動9,172人 その他の活動243人 合 計 9,828人	B
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金(老人部)	同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。 定例学習会758人 研修会302人 体験活動28人 交流会190人 健康教室389人 各種学習会747人 その他の活動3人 合 計 2,417人	B
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金(成年)	同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。	B

		<p>研修会 242人 全体学習会 455人 定例学習会 1,532人 健康学習会68人 各種学習会54人 その他の活動2,400人</p> <p>合 計 4,751人</p>	
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（青年部）	<p>同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。</p> <p>研修会 13人 定例学習会 228人 役員会 120人 その他の活動360人</p> <p>合 計 721人</p>	B
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（子ども会育成会）	<p>同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。</p> <p>全体学習会63人 総会25人 研修会140人 学習会504人 交流会100人 子ども会活動138人 その他141人</p> <p>合 計 1,111人</p>	B
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（各種学級）	<p>同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。</p> <p>英会話教室97人 音楽教室627人 健康料理教室1,500人 民舞教室310人 健康体操教室313人 カラオケ教室475人 アートフラワー216人 手芸教室382人 生け花教室77人 盆栽教室124人</p> <p>合 計 4,121人</p>	B